

MOMAT コレクション 2 月からも見どころもりたくさん！

MOMAT コレクション 今期もフレッシュ！「清宮質文^{せいみやなおふみ}」、春らしい「ハイライト」、そして「シュルレアリスム 100 年」、「フェミニズムと映像表現」は好評につき継続！恒例の春まつりも

名品ぞくぞく！2025 年 2 月 11 日（火・祝）～6 月 15 日（日）の今期のおすすめは、詩情あふれる作風でファンの多い「清宮質文」です。前会期で好評を博した「シュルレアリスム 100 年」と「フェミニズムと映像表現」は部分的に作品を更新して継続。いずれも一部屋ながら企画展レベルの充実した展示です。この機会をぜひお見逃しなく。明治から現代まで、約 150 年の美術史を見通しながら新たなトピックに触れられる MOMAT コレクションをぜひお楽しみください。

会期：2025 年 2 月 11 日（火・祝）～6 月 15 日（日）
会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4～2 階



[1] 清宮質文《深夜の蠟燭》
1974 年



[2] ナターリア・ゴンチャローヴァ《スペイン女》
1916-1920 年頃

今期のおすすめ

清宮質文（3F 7 室）

戦後日本を代表する木版画家、清宮質文^{せいみやなおふみ}。戦後に主流となった実験的な版画からは距離をおき、清宮は繊細な木版を追求しました。1 点ずつ色調を緻密に調整したその作品はファンを魅了してやみません。2023 年度新たに収蔵した清宮の複数の代表作のほかに、同世代の作家や、清宮が影響を受けたパウル・クレー、恩地孝四郎らの名品と合わせてお楽しみください。

ポイント

- 透明感あふれる緻密な清宮の作品をまとめてじっくり見られます。
- 駒井哲郎、野見山暁治ら、同世代の作家の作品群から清宮の交流関係も見えてきます。



[3] 清宮質文《九月の海辺》1970 年

☑ 「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フロア 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL：03-3214-2565（直通） FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp



ハイライト (4F 1 室)

当館のコレクションの魅力をぎゅっと凝縮して紹介する「ハイライト」。今期は、さわやかな季節を感じさせる日本画とともに、装飾的な要素に着目した油彩画が並びます。ジョージア・オキーフと吉田ふじをなど隣り合う作品の組み合わせにもご注目ください。近年修復したロシア・アヴァンギャルドのナターリア・ゴンチャローヴァの傑作《スペイン女》は、当館では7年ぶりとなる展示です。

ポイント

- 国内では所蔵がほとんどないゴンチャローヴァの逸品に出会えるチャンス。
- 前期 (2/11 ~ 4/13) は春、後期 (4/15 ~ 6/15) は新緑の季節にぴったりの日本画を展示。



[4] ジョージア・オキーフ《タチアオイの白と緑—ペダーナル山の見える》1937 年

好評につき継続!

シュルレアリスム 100 年 (4F 5 室)

アンドレ・ブルトンによる『シュルレアリスム宣言』発表 (1924 年) から 100 年を記念して、世界に波及したシュルレアリスムの作品や資料を一举公開。近年新たに収蔵したマックス・エルンストの《砂漠の花 (砂漠のバラ)》をはじめ、充実した国内外の作品と資料がずらりと並ぶ、見応えのある展示です。



[5] 北脇昇《独活》1937 年

好評につき継続!

コレクションによる小企画 フェミニズムと映像表現 (2F ギャラリー 4)

前会期から継続し、女性のアーティストによる 1970 年代から現代までの映像表現を、フェミニズムをテーマに紹介します。昨年 9 月から注目を集め、好評を得ている企画です。前会期から一部作品を入れ替えています。

出品作家：出光真子、遠藤麻衣 × 百瀬文、キムスージャ、マーサ・ロスラー、ナンシー・ホルト&ロバート・スミッソン



[6] マーサ・ロスラー《キッチンの記号論》1975 年、Courtesy of Electronic Arts Intermix (EAI), New York

美術館の春まつり (3F 10 室)

毎年好評の春まつりを、今年も開催します。皇居周辺のお花見と合わせて、ぜひご来館ください。川合玉堂の重要文化財《行く春》をはじめ春にまつわる所蔵品を一举公開。また、レストランの特別メニューのテイクアウト販売や前庭の休憩所もご用意します。詳しくは美術館ウェブサイトにてお知らせします。



[7] 川合玉堂《行く春》(左隻) 1916 年、重要文化財



「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フロア 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL : 03-3214-2565 (直通) FAX : 03-3214-2576

Email : pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんてん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2025 年 2 月 11 日 (火・祝) ～ 6 月 15 日 (日)

休館日：月曜日 (ただし 2 月 24 日、3 月 31 日、5 月 5 日は開館)、2 月 25 日、5 月 7 日

開館時間：10:00–17:00 (金曜・土曜は 10:00–20:00) ※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500 (400) 円 / 大学生 250 (200) 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金 (一般 300 円、大学生 150 円)

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者 (1 名) は無料。

※国際博物館の日 (5 月 18 日) は無料

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口) 徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「ヒルマ・アフ・クリント展」

2025 年 3 月 4 日 (火) ～ 6 月 15 日 (日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/561>

「ヒルマ・アフ・クリント展」の観覧料で、入館当日に限り、

所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4 「フェミニズムと映像表現」も
ご覧いただけます。

【ヒルマ・アフ・クリント展 プレスお問い合わせ先】

「ヒルマ・アフ・クリント展」広報事務局 (ユース・プランニング センター内)

E-mail: hak2025@ypcpr.com TEL: 03-6821-8466



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。1952 年に開館し、2022 年 12 月 1 日に開館 70 周年を迎えました。最大の特徴は重要文化財 18 点 (うち 2 点は寄託) を含む 13,000 点を超える国内最大級のコレクション。19 世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・小川

TEL：03-3214-2565 (直通) FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp

